



一般財団法人 ジェネシスジャパン 2017年11月20日  
ニュースレター 第33号  
〒311-3116 茨城県東茨城郡茨城町長岡 3652-306-3  
電話 029-292-9621 ファックス 03-6862-8340

天を造り出し、  
これを引き延べ、  
地とその産物を押し広め、  
その上の民に息を与え、  
この上を歩む者に  
霊を授けた創造主は  
こう仰せられる。  
わたし、主は、  
義をもってあなたを召し、  
あなたの手を握り、  
あなたを見守り、  
あなたを民の契約とし、  
国々の光とする。  
イザヤ四十二章5、6節



拠り所が無くなれば、  
いくら正しい者でも何も出来はしない。  
創造主訳聖書 詩篇 11:3



## 鍵穴から天を覗く

ジェネシスジャパン会長 宇佐神 実

ヒマラヤ山脈 (アンナプルナ連峰)

### 教会に行かなくなる理由

先月、ある大学で創造論について話をした後、一人の学生からこう言われました。

「私は小さい頃は教会の日曜学校に通っていましたが、学校で進化論を学ぶようになってから、だんだん聖書のおとぎ話だと感じるようになって、教会に行かなくなりました。でも、今日の話

を聞いて進化論の方が根拠がなく、聖書の方が正しいと思えました。」

また、海外からの留学生たちが集っている教会で話をした後、アフリカから来ている留学生からこう尋ねられました。

「私の国では、ほぼすべての人が世界が創造されたと信じていますが、最近進化論者が『聖書は非科学的な書物だ。聖書には、ヨ

シュアの時代に太陽も月も止まって丸一日動かなかった（ヨシュア 10:12-14）とか、キリストが水の上を歩いた（マタイ 14:25-26）とか自然法則に反することが書かれている。そんな非科学的な聖書を信じることは愚かだ』と各地で講演しています。その結果聖書を信じなくなる人が増えていますが、どうしたらよいのでしょうか。」

この二人に共通しているのは、

今回の写真の多くは、今年9-10月に宇佐神会長がネパールで撮影したものです。ネパールのヒマラヤ山脈の光景と創造カンファレンスの様子をご覧いただくために掲載させていただきました。ネパールは、まだ創造伝道が始まったばかりです。ネパールのために是非お祈りください。



全アジア創造カンファレンスネパール大会の写真  
上/会長の講演 右/ネパール大会集合写真



進化論が科学として教えられた結果、聖書の教えが信じられなくなり、教会から人が去ったということです。

詩篇に「**抛り所（土台）がこわされたら正しい者に何ができようか。**」（詩篇 11:3）<sup>2</sup>とあります。私たちの「土台」とは何でしょうか。それは自分自身のアイデンティティ、すなわち自分がどういふ存在か認識することです。自分が創造された存在なのか、自分が進化した存在なのか、この根本的な問題をどう考えるかで残りの考え方も決まってしまうと言っても過言ではないでしょう。

## 鍵穴から天を覗く

ヒューマニズム（人本主義）に立つ人は、無神論・進化論・唯物論を信じ、現代科学を最高位の知的調査手段だと考えます。ですから、科学で証明できない創造主や霊の存在を認めず、創造主の関与（創造・墮落・キリストの救い・復活・永遠のいのち・奇跡など）を否定します。

これは鍵穴から天を覗くことだと言えるでしょう。すなわち鍵穴から見える天だけが天のすべてだと信じるようなものだということ

です。科学が鍵穴で、科学で認知できないことは認めないという考え方です。

現代科学は、物質に関することだけが扱われますが、かつては創造された世界を解明するために科学が用いられていました。物理法則を解明したニュートンや生物の分類をしたリンネなど多くの科学者が、聖書に基づいて世界を解明しようとしたのです。そういうわけで、本来の科学は、現代の物質主義に立つ科学よりも広い見識に立ったものなのです。

## 科学研究の対象

多くの人は、「聖書は科学を否定し、科学は聖書を否定する」という誤った認識をしています。実際には聖書は科学を超越しているのであって、本来相反するものではありません。

聖書はこの世界には霊と物質があることを教えています。まず創造主は霊で、すべてを造り出した存在です。被造物には、霊だけの存在（み使い）、霊と物質を併せ持つ存在（人や動物）、霊をもたない物質だけの存在（植物や非生物）があります。

特に精神に関しては、霊と物

質の両方が関わっていると考えられます。脳は物質ですが、脳だけですべてを判断しているのではなく、霊の指令を脳が行っていると考えられます。これは、コンピュータを脳に、人を霊にたとえるとわかりやすいでしょう。物質であるコンピュータ自体は単独では何もすることができませんが、人の指令にしたがって様々なことを実行できます。私は脳と霊との関係はそのようではないかと考えています。

そして物質、これが科学で扱う範囲です。科学の実験などによって物質に関連することは検証することができます。（表1参照）

しかし非物質である霊は、科学で扱える範囲を超えていて、実験検証ができません。聖書は物質だけでなく霊の働きについても扱っていますから、聖書は科学を超越しているのです。

このことをきちんと理解できないと混乱が生じ、聖書と科学が相反すると感じてしまうのです。

ところで、本当の意味で進化論を理解し信じている人は、物質主義の立場に立ちます。これは、科学で認識できないものはその存在を認めないという立場です。

もし彼らに「あなたは、自分が



ポカラ市とヒマラヤ山脈

右/全アジア創造カンファレンスネパール大会の講師5名と会場となったジーザス・カレッジ



どういふ存在だと考えていますか。物質だけでしょうか。それとも物質と霊を併せ持つでしょうか」と尋ねるなら、彼らは「物質だけの存在です」と躊躇なく答えるでしょう。

先に挙げたアフリカからの留学生の話に出てきた進化論者もおそらくこの立場に立って講演しています。このような立場に立つ人は、霊の存在を一切認めず、物質だけが世界の全てだと考えます。そして科学で認識できないものは存在しないと考えるのです。（表2参照）

このような考えは、ヒューマニスト・マニフェストの次のことばによく表されています。

現代科学による宇宙の本質の描写は、人間の価値についていかなる超自然的・宇宙的保障も受け入れられないものとしていると、ヒューマニズムは主張する。……いかなるまたはすべての事実の存在や価値について決定する方法は、知的調査手段と、それらが人の必要に関係あるかどうかの評価によるとヒューマニズムは主張する。<sup>2</sup>

これは、現代科学で証明できない創造主からの保障はなく、事実

が何かはすべて人が決めるという考えです。このように、人に認識できるものがすべてであるという鍵穴を先に定めてしまうなら、それ以外は除外されるのです。進化論は、霊の存在を認めない物質主義の立場に基づいているのです。

## 霊を併せ持つ存在

あなたはただの物質から成る存在ですか。それとも霊を併せ持つ存在でしょうか。もし霊を併せ持つ存在だと認識しているなら、科学という鍵穴を通して見る世界が世界のすべてではないことを知っているということです。

聖書は、創造主がこの世界を造ったことを教えています。世界を造りその自然法則を定めることのできる全知全能の創造主にとって、自然法則を一時的に変えることは何の造作もないことです。地球の自転を止めて太陽を中天に留めることも、水の上を歩くことも、創造主には障害となりません。

人が自分の知恵と力で判断できることがすべてではないということを知ることはとても大切です。世界を創造した全能の創造主の存在を認めるとき、人は謙遜にさせ

られるのです。

聖書信仰の土台が壊されるとどうなるでしょう。それは、砂の土台の上に建てられた家（マタイ7：26-27）のようで、世の教えという洪水や風雨によってひどい倒れ方をしてしまい、場合によっては聖書信仰をも失ってしまいます。ですから私たちは「進化論は、聖書信仰の土台を破壊する」ときちんと認識する必要があります。

以前ニューズレター（24号）にも書きましたが、明治時代に聖書の教えが入ってきた時、聖書の教えを阻止し、人々が創造を信じられなくするために用いられたのも進化論でした。私たちには、創造を信じる磐石な土台が必要不可欠なのです。それにもかかわらず多くの教会では創造がほとんど語られず、無防備で土台が壊されるままになっているのです。

私たちの役割は、ネヘミヤが城壁を再建したように、創造という土台を再建することではないでしょうか。この世界が創造されたという事実を共に語り伝えていこうではありませんか。

参考文献・引用文献  
 1. 新改訳聖書第二版 いのちのことば社 1978年  
 2. John Dewey 他. Humanist Manifest 1 FIFTH 1933年 (宇佐神美私訳)  
<https://americanhumanist.org/what-is-humanism/manifesto/>

表1

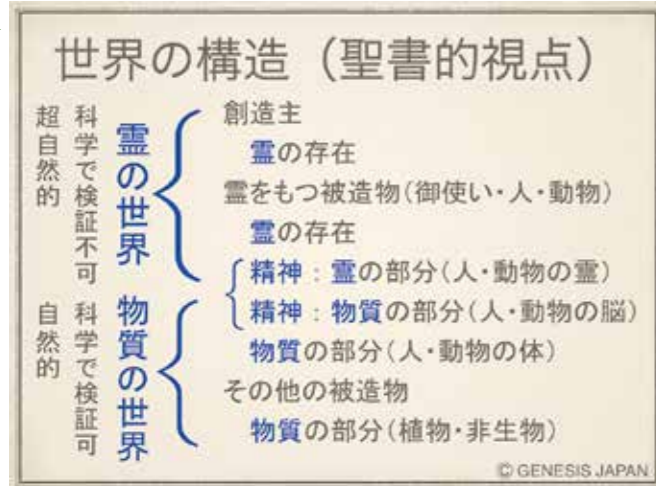
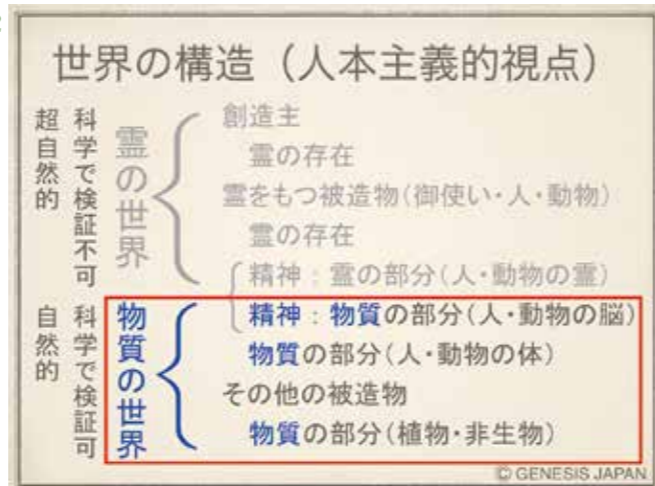


表2





## 2017年秋の創造セミナー感想 @ 白馬

2012年から始まった秋の創造セミナーも今回で第六回を迎えました。このセミナーはリピーターも多く与えられていて、今年はクラシックギタリストの池田宏里氏も音楽ゲストに加わってくださり、講演に加え楽器による讃美の時間もますます充実してきました。感想を書いてくださった皆様に感謝します。全てを載せられず申しわけありません。次回は**2018年10月25日(木)~27日**を予定しています。今のうちから予定にお加えいただければ幸いです。宇佐神実

### ■ 講演に関して

\* 神様の素晴らしさと同時に、進化論に知らないうちに、毒されていることを感じることが出来ました。聖書は説明書。

力強く響きました。T.T

\* 「素晴らしい鳥たち」本当に何と素晴らしい鳥たちは造られたことか、こういうお話を聞き、見るのが大好きです。S.M

\* 創造主の造られた天地万物がすばらしく出来ておる故に、人はそれをしらべ、研究し人の役に立てていること、大自然は教師であり、教科書となっていることを教えられて感謝だ。K.T

\* 「恐竜の真実」は、とても興味がありましたので、今回よき学びに感謝でした。「良い地に種を」では、聖書は創造主が与えた説明書であり、神の創造の確かさをより深く学べ感謝でした。K.M

\* 講師の先生方のお人柄が、それぞれの講義の中にあらわれていて、あたたかみがあり、感動するものでした。N.N

\* 「聖書は人生の説明書、創世記は土台」クリスチャンとしてとても重要な認識だと思いました。匿名

\* 今回も、数多くの、事を知ることが出来ました。ものの見方、発想の仕方にも新しい気づきがありました。S.K

### ■ 賛美に関して

\* 心からの主への賛美、有難う御座居ます。大変すばらしいピアノとギター合奏、歌声を心から楽しむ事が出来ました。今度は、合唱に参加したいと思います。M.S

\* 鈴木先生の賛美指導は、毎回よいことを学べて感謝です。サキソフォンの演奏、池田先生のギターとのセッションもすてきでした。池田先生の8弦のギター演奏、すばらしかったです。H.K

\* とっても気持ち良く、楽しませていただき、感動でした。講義の間にこんな時間があるのは、すごくいいなあと思いました。S.K

### ■ オプションツアー・施設・他

\* あいにくの雨が降ってしまいましたが、動物を見たり、わさび園に初めて行ったりで楽しめました。K.M

\* いつものように、美味しい食事、温泉と心も身体も癒されました。H.K

\* 忙しいようで、ゆとりがあり、充実した内容の学びで満足感があり、感謝です。

先生方が真心をこめてかたて下さったのに涙を流した。感謝です。I.T

ただ聞いて終わるのでなく、1人1人が何かの活動に参加する機会が与えられ、全員でセミナーをつくり上げていく雰囲気がありました。匿名



## 講座・イベント案内

### ■ 創造を伝える働き人養成講座

講師：宇佐神実

第11回 2018/1/22(月)~24(水)  
@勝浦(千葉県)

第12回 2018/2/20(火)~22(木)  
@足摺岬(高知県)

### ■ 全アジア創造カンファレンス 日本大会

2018/5/31(木)~6/2(土)  
@那覇バプテスト教会

詳細のお問い合わせ・お申し込み・  
セミナーや講演のご依頼は、  
ジェネシスジャパンまで

## 全アジア創造カンファレンス・ネパール大会

去る9月25、26日に、ネパールの牧師の熱烈な要請を受けて私を含む5名の創造論者がネパールを訪れ、創造カンファレンスが開催されました。ネパールで創造論が語られたのは今回が初めてで、参加者たちは非常な関心を持ち、また今後ネパールで創造を語る必要性を実感した牧師たちが創造団体の創設準備に入っています。クリスチャン新聞に報告した内容が<http://クリスチャン新聞.com/?p=17310>でご覧いただけます。**来年5月31~6月2日は、沖縄で日本大会が開催されます。是非ご参加ください。**

